

システム名	災対用ビル別情報マップ		
章番号	第3章 機能設計		
機能名			
3. 1. 10 災害一覧			
<div>3. 1. 10. 1 災害一覧</div> <div>3. 1. 10. 2 災害登録</div> <div>3. 1. 10. 3 災害詳細</div> <div>3. 1. 10. 4 災害修正</div>			

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

## 3. 1. 10 災害一覧

画面名 3. 1. 10. 1 災害一覧

## 【1】イベント 1/3

No.	項目名	トリガー	処理内容										
1	—	初期表示	<div>&lt;1.1 前提条件&gt;</div> <div>1.1.1 地図画面より遷移する。</div> <div>1.1.2 災害登録画面より遷移する。</div> <div>1.1.3 災害詳細画面より遷移する。</div> <div>&lt;1.2 初期処理&gt;</div> <div>1.2.1 画面入力項目を初期化する。</div> <div>1.2.2 メッセージエリアを初期化する。</div> <div>1.2.3 ヘッダーバーを初期化する。</div> <div><div>・ ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。</div><div>・ ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。</div></div> <div>1.2.4 検索エリアの初期値の条件で、未削除の災害一覧を全て抽出する。</div> <div><div>・ 検索項目が未入力の項目は、該当項目について全件検索とする。</div><table><tr><th>検索項目</th><th>検索条件</th></tr><tr><td>災害名</td><td>あいまい検索可能。</td></tr><tr><td>災害発生日時</td><td>災害発生日時が指定期間内のデータを検索。</td></tr></table></div> <div>1.2.5 抽出した災害一覧の件数を、ヘッダー文言③に表示する。</div> <div>1.2.6 抽出した災害一覧を、災害一覧エリアに表示する。</div> <div><div>・ 以下のソート項目で並び替えした後に初期表示する。</div><table><tr><th>ソート項目</th><th>ソート順</th></tr><tr><td>災害ID</td><td>降順</td></tr></table><div>・ 結果がゼロ件の場合、下記項目を非活性にする。</div><div>・ ページ遷移リンク</div></div> <div>1.2.7 ページ遷移リンクの設定。</div> <div><div>・ 次ページがある場合は、次ページリンクを設定する。</div><div>・ 前ページのリンクは、テキストの表示のみとする。</div></div>	検索項目	検索条件	災害名	あいまい検索可能。	災害発生日時	災害発生日時が指定期間内のデータを検索。	ソート項目	ソート順	災害ID	降順
検索項目	検索条件												
災害名	あいまい検索可能。												
災害発生日時	災害発生日時が指定期間内のデータを検索。												
ソート項目	ソート順												
災害ID	降順												
2	検索ボタン	押下時	<div>&lt;2.1 前提条件&gt;</div> <div>2.1.1 検索ボタンを押下する。</div> <div>&lt;2.2 一覧検索処理&gt;</div> <div>2.2.1 属性チェック</div> <div><div>・ チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。</div><div>・ 未入力の場合、チェックしない。</div></div> <div>2.2.2 有効年月日時分チェック</div> <div><div>・ チェック内容は、【2】の有効年月日時分チェックを参照。</div><div>・ 未入力の場合、チェックしない。</div></div> <div>2.2.3 年月日時分逆転チェック</div> <div><div>・ チェック内容は、【2】の年月日時分逆転チェックを参照。</div><div>・ 未入力の場合、チェックしない。</div></div>										

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 10 災害一覧

画面名 3. 1. 10. 1 災害一覧

【1】イベント 2/3

No.	項目名	トリガー	処理内容										
2	2.2.4 検索エリアにおける各入力欄のAND条件で、未削除の災害一覧を全て抽出する。 ・ 検索項目で未入力を指定した項目は、該当項目について全件検索とする。 <table><tr><th>検索項目</th><th>検索条件</th></tr><tr><td>災害名</td><td>あいまい検索可能。</td></tr><tr><td>災害発生日時</td><td>災害発生日時が指定期間内のデータを検索。</td></tr></table> 2.2.5 抽出した災害一覧の件数を、ヘッダー文言③に表示する。 2.2.6 抽出した災害一覧を、災害一覧エリアに表示する。 ・ 以下のソート項目で並び替えした後に初期表示する。 <table><tr><th>ソート項目</th><th>ソート順</th></tr><tr><td>災害ID</td><td>降順</td></tr></table> ・ 結果がゼロ件の場合、下記項目を非活性にする。 ・ ページ遷移リンク 2.2.7 ページ遷移リンクの設定。 ・ 次ページがある場合は、次ページリンクを設定する。 ・ 前ページのリンクは、テキストの表示のみとする。			検索項目	検索条件	災害名	あいまい検索可能。	災害発生日時	災害発生日時が指定期間内のデータを検索。	ソート項目	ソート順	災害ID	降順
検索項目	検索条件												
災害名	あいまい検索可能。												
災害発生日時	災害発生日時が指定期間内のデータを検索。												
ソート項目	ソート順												
災害ID	降順												
3	クリアボタン	押下時	<3.1 前提条件> 3.1.1 クリアボタンを押下する。  <3.2 クリア処理> 3.2.1 検索エリアの各項目を、初期表示時の状態に戻す。 3.2.2 メッセージエリアを初期化する。										
4	災害登録画面へボタン	押下時	<4.1 前提条件> 4.1.1 災害登録画面へボタンを押下する。  <4.2 画面遷移処理> 4.2.1 災害登録画面に遷移する。										
5	一覧行選択リンク	クリック時	<5.1 前提条件> 5.1.1 災害一覧の行にカーソルを合わせ、行をクリックする。  <5.2 画面遷移処理> 5.2.1 指定された行の災害情報の災害詳細画面へ遷移する。										
6	一覧表示件数切替	変更時	<6.1 前提条件> 6.1.1 一覧表示件数を別の値に変更する。  <6.2 災害一覧更新処理> 6.2.1 指定した表示件数をもとに、表示中の災害一覧を再表示する。										

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

## 3. 1. 10 災害一覧

画面名 3. 1. 10. 1 災害一覧

## 【1】イベント 3/3

No.	項目名	トリガー	処理内容						
7	ページ遷移リンク	クリック時							
			<div>&lt;7.1 前提条件&gt;<div>7.1.1 前ページ遷移リンクをクリックする。</div>7.1.2 次ページ遷移リンクをクリックする。</div> <div>&lt;7.2 災害一覧更新処理&gt;<div>7.2.1 表示中の災害一覧について、遷移先ページの内容に更新する。</div>7.2.2 次ページがある場合は、次ページのリンクを設定、<div>前ページがある場合は、前ページのリンクを設定する。</div></div>						
8	ソートリンク	クリック時							
			<div>&lt;8.1 前提条件&gt;<div>8.1.1 各ソートリンクをクリックする。</div></div> <div>&lt;8.2 災害一覧更新処理&gt;<div>8.2.1 表示中の一覧について、ソート順を変更後再表示する。</div><table><tr><th>ソート項目</th><th>ソートキーの属性</th></tr><tr><td>災害ID</td><td>数字</td></tr><tr><td>災害発生日時</td><td>年月日時分</td></tr><tr><td>災害収束日時</td><td>年月日時分</td></tr></table></div>		ソート項目	ソートキーの属性	災害ID	数字	災害発生日時
ソート項目	ソートキーの属性								
災害ID	数字								
災害発生日時	年月日時分								
災害収束日時	年月日時分								
9	地図に戻るボタン	クリック時							
			<div>&lt;9.1 前提条件&gt;<div>9.1.1 地図に戻るボタンを押す。</div></div> <div>&lt;9.2 戻る処理&gt;<div>9.2.1 地図画面に戻る。</div></div>						
10	前に戻るボタン	クリック時							
			<div>&lt;10.1 前提条件&gt;<div>10.1.1 前に戻るボタンを押す。</div></div> <div>&lt;10.2 戻る処理&gt;<div>10.2.1 前画面に戻る。</div></div>						

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

## 3. 1. 10 災害一覧

画面名 3. 1. 10. 1 災害一覧

## 【2】チェック処理 1/1

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	属性チェック (全半角)	災害名について、半角 + 全角(機種依存文字『ローマ数字、マルつき数字、単位、カッコつき文字』を除く)のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0007	メッセージエリア
2	有効年月日時分 チェック	災害発生日時(開始)が、日時として有効であること。 (※時分未入力の場合、「00時00分」でチェックする)		
		上記条件を満たさない。	EA0009	メッセージエリア
		災害発生日時(終了)が、日時として有効であること。 (※時分未入力の場合、「00時00分」でチェックする)		
		上記条件を満たさない。	EA0009	メッセージエリア
3	年月日時分逆転 チェック	災害発生日時(開始) <= 災害発生日時(終了)。 (※時分未入力の場合、「00時00分」でチェックする)		
		上記条件を満たさない。	EA0015	メッセージエリア

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

## 3. 1. 10 災害一覧

画面名 3. 1. 10. 2 災害登録

## 【1】イベント 1/2

No.	項目名	トリガー	処理内容
1	—	初期表示	<p>&lt;1.1 前提条件&gt; 1.1.1 災害一覧画面より遷移する。</p> <p>&lt;1.2 初期処理&gt; 1.2.1 画面入力項目を初期化する。 1.2.2 メッセージエリアを初期化する。 1.2.3 ヘッダーバーを初期化する。 ・ ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。 ・ ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。 1.2.4 災害発生日時欄に(システム日付 + 00時00分)をセットする。</p>
2	クリアボタン	押下時	<p>&lt;2.1 前提条件&gt; 2.1.1 クリアボタンを押下する。</p> <p>&lt;2.2 クリア処理&gt; 2.2.1 確認ダイアログを表示する。(NA0001) 「入力情報をクリアします。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下: 次の処理(2.2.2)へ進む。 キャンセル押下: 処理を抜ける。 2.2.2 すべての入力項目を、初期表示時の状態に戻す。 2.2.3 メッセージエリアを初期化する。</p>
3	登録ボタン	押下時	<p>&lt;3.1 前提条件&gt; 3.1.1 登録ボタンを押下する。</p> <p>&lt;3.2 登録確定処理&gt; 3.2.1 確認ダイアログを表示する。(NI0001) 「災害情報を登録します。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下: 次の処理(3.2.2)へ進む。 キャンセル押下: 処理を抜ける。 3.2.2 必須入力チェック ・ チェック内容は、【2】の必須入力チェックを参照。 3.2.3 属性チェック ・ チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。 3.2.4 有効年月日時分チェック ・ チェック内容は、【2】の有効年月日時分チェックを参照。 ・ 未入力の場合、チェックしない。 3.2.5 年月日時分逆転チェック ・ チェック内容は、【2】の年月日時分逆転チェックを参照。 ・ 未入力の場合、チェックしない。</p>

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 10 災害一覧

画面名

3. 1. 10. 2 災害登録

【1】イベント 2/2

No.	項目名	トリガー	処理内容
3	3.2.6 一意チェック ・チェック内容は、【2】の一意チェックを参照。 3.2.7 入力内容をDBに登録する。 3.2.8 完了を災害詳細画面のメッセージエリアに表示する。(NA0002) 「以下の内容で登録しました。」 3.2.9 災害詳細画面に遷移する。		
4	地図に戻るボタン	クリック時	<4.1 前提条件> 4.1.1 地図に戻るボタンを押す。  <4.2 戻る処理> 4.2.1 地図画面に戻る。
5	前に戻るボタン	クリック時	<5.1 前提条件> 5.1.1 前に戻るボタンを押す。  <5.2 戻る処理> 5.2.1 前画面に戻る。

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

## 3. 1. 10 災害一覧

画面名 3. 1. 10. 2 災害登録

## 【2】チェック処理 1/1

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	必須入力チェック	必須項目(※3)が入力されていること。		
		上記条件を満たさない。	EA0001	メッセージエリア
2	属性チェック (全半角)	災害名について、半角 + 全角(機種依存文字『ローマ数字、マルつき数字、単位、カッコつき文字』を除く)のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0007	メッセージエリア
3	有効年月日時分 チェック	災害発生日時が日時として有効であること。 (※時分未入力の場合、「00時00分」でチェックする)		
		上記条件を満たさない。	EA0009	メッセージエリア
		災害収束日時が日時として有効であること。 (※時分未入力の場合、「00時00分」でチェックする)		
		上記条件を満たさない。	EA0009	メッセージエリア
4	年月日時分逆転 チェック	災害発生日時 ≤ 災害収束日時。 (※時分未入力の場合、「00時00分」でチェックする)		
		上記条件を満たさない。	EA0015	メッセージエリア
5	一意チェック	同じ災害名を持つ未削除の災害情報が存在しないこと。		
		上記条件を満たさない。	EA0014	メッセージエリア

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

※3 必須項目

項目名	トリガー
災害名	(登録ボタン押下)



システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

## 3. 1. 10 災害一覧

画面名 3. 1. 10. 3 災害詳細

## 【1】イベント 1/2

No.	項目名	トリガー	処理内容
1	—	初期表示	<p>&lt;1.1 前提条件&gt;</p> <p>1.1.1 災害一覧画面より遷移する。</p> <p>1.1.2 災害登録画面より遷移する。</p> <p>1.1.3 災害修正画面より遷移する。</p> <p>&lt;1.2 初期処理&gt;</p> <p>1.2.1 ヘッダーバーを初期化する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。</li><li>・ ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。</li></ul> <p>1.2.2 前画面にて指定された災害IDから、災害情報を抽出する。</p> <p>1.2.3 抽出した災害一覧の災害IDを、ヘッダー文言③に表示する。</p> <p>1.2.4 抽出した災害情報を、災害詳細エリアに表示する。</p>
2	修正ボタン	押下時	<p>&lt;2.1 前提条件&gt;</p> <p>2.1.1 修正ボタンを押下する。</p> <p>&lt;2.2 画面遷移処理&gt;</p> <p>2.2.1 指定した災害情報の災害修正画面へ遷移する。</p>
3	削除ボタン	押下時	<p>&lt;3.1 前提条件&gt;</p> <p>3.1.1 削除ボタンを押下する。</p> <p>&lt;3.2 削除確定処理&gt;</p> <p>3.2.1 確認ダイアログを表示する。(NI0003)</p> <p>「災害情報を削除します。よろしいですか?」OK・キャンセル</p> <p>OK押下: 次の処理(3.2.2)へ進む。</p> <p>キャンセル押下: 処理を抜ける。</p> <p>3.2.2 被災状況情報有無チェック</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ チェック内容は、【2】の被災状況情報有無チェックを参照。</li></ul> <p>3.2.3 フリーワード情報有無チェック</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ チェック内容は、【2】のフリーワード情報有無チェックを参照。</li></ul> <p>3.2.4 排他チェック</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ チェック内容は、【2】の排他チェックを参照。</li></ul> <p>3.2.5 削除更新処理を行う。</p> <p>3.2.6 完了を災害一覧画面のメッセージエリアに表示する。(NI0004)</p> <p>「災害情報を削除しました。」</p> <p>3.2.7 災害一覧画面に遷移する。</p>

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 10 災害一覧

画面名

3. 1. 10. 3 災害詳細

【1】イベント 2/2

No.	項目名	トリガー	
	処理内容		
4	地図に戻るボタン	クリック時	
	<4.1 前提条件> 4.1.1 地図に戻るボタンを押す。		
	<4.2 戻る処理> 4.2.1 地図画面に戻る。		
5	前に戻るボタン	クリック時	
	<5.1 前提条件> 5.1.1 前に戻るボタンを押す。		
	<5.2 戻る処理> 5.2.1 前画面に戻る。		

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 10 災害一覧

画面名

3. 1. 10. 3 災害詳細

【2】チェック処理 1/1

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	被災状況情報有無 チェック	同じ災害IDを持つ未削除の被災状況情報が存在しないこと。		
		上記条件を満たさない。	EI0001	メッセージエリア
2	フリーワード情報有 無チェック	同じ災害IDを持つ未削除のフリーワード情報が存在しないこと。		
		上記条件を満たさない。	EI0003	メッセージエリア
3	排他チェック	表示中の災害情報が最新であること。		
		上記条件を満たさない。	EA0013	災害一覧画面のメッセー ジエリア

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 10 災害一覧

画面名

3. 1. 10. 4 災害修正

【1】イベント 1/2

No.	項目名	トリガー	処理内容
1	—	初期表示	<div>&lt;1.1 前提条件&gt; 1.1.1 災害詳細画面より遷移する。</div> <div>&lt;1.2 初期処理&gt; 1.2.1 画面入力項目を初期化する。 1.2.2 メッセージエリアを初期化する。 1.2.3 ヘッダーバーを初期化する。<div>・ ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。 ・ ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。</div>1.2.4 前画面にて指定された災害IDから、災害情報を抽出する。 1.2.5 抽出した災害情報の災害IDを、ヘッダー文言③に表示する。 1.2.6 抽出した災害情報を、災害修正エリアに表示する。</div>
2	クリアボタン	押下時	<div>&lt;2.1 前提条件&gt; 2.1.1 クリアボタンを押下する。</div> <div>&lt;2.2 クリア処理&gt; 2.2.1 確認ダイアログを表示する。(NA0001) 「入力情報をクリアします。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下: 次の処理(2.2.2)へ進む。 キャンセル押下: 処理を抜ける。 2.2.2 すべての入力項目を、初期表示時の状態に戻す。 2.2.3 メッセージエリアを初期化する。</div>
3	登録ボタン	押下時	<div>&lt;3.1 前提条件&gt; 3.1.1 登録ボタンを押下する。</div> <div>&lt;3 登録確定処理&gt; 3.2.1 修正確認ダイアログを表示する。(NI0002) 「災害情報を修正します。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下: 次の処理(3.2.2)へ進む。 キャンセル押下: 処理を抜ける。 3.2.2 必須入力チェック ・ チェック内容は、【2】の必須入力チェックを参照。 3.2.3 属性チェック ・ チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。 3.2.4 有効年月日時分チェック ・ チェック内容は、【2】の有効年月日時分チェックを参照。 ・ 未入力の場合、チェックしない。 3.2.5 年月日時分逆転チェック ・ チェック内容は、【2】の年月日時分逆転チェックを参照。 ・ 未入力の場合、チェックしない。</div>

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 10 災害一覧

画面名

3. 1. 10. 4 災害修正

【1】イベント 2/2

No.	項目名	トリガー	処理内容
3	3.2.6 一意チェック ・チェック内容は、【2】の一意チェックを参照。 3.2.7 排他チェック ・チェック内容は、【2】の排他チェックを参照。 3.2.8 DBに存在する表示中の災害情報に対し、入力内容を上書きする。 3.2.9 完了を災害詳細画面のメッセージエリアに表示する。(NA0002) 「以下の内容で登録しました。」 3.2.10 災害詳細画面に遷移する。		
4	地図に戻るボタン	クリック時	<4.1 前提条件> 4.1.1 地図に戻るボタンを押す。  <9.2 戻る処理> 4.2.1 地図画面に戻る。
5	前に戻るボタン	クリック時	<5.1 前提条件> 5.1.1 前に戻るボタンを押す。  <5.2 戻る処理> 5.2.1 前画面に戻る。

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

## 3. 1. 10 災害一覧

画面名 3. 1. 10. 4 災害修正

## 【2】チェック処理 1/1

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	必須入力チェック	必須項目(※3)が入力されていること。		
		上記条件を満たさない。	EA0001	メッセージエリア
2	属性チェック (全半角)	災害名について、半角 + 全角(機種依存文字『ローマ数字、マルつき数字、単位、カッコつき文字』を除く)のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0007	メッセージエリア
3	有効年月日時分 チェック	災害発生日時が日時として有効であること。 (※時分未入力の場合、「00時00分」でチェックする)		
		上記条件を満たさない。	EA0009	メッセージエリア
		災害収束日時が日時として有効であること。 (※時分未入力の場合、「00時00分」でチェックする)		
		上記条件を満たさない。	EA0009	メッセージエリア
4	年月日時分逆転 チェック	災害発生日時 ≤ 災害収束日時。 (※時分未入力の場合、「00時00分」でチェックする)		
		上記条件を満たさない。	EA0015	メッセージエリア
5	一意チェック	同じ災害名を持つ未削除の災害名情報が存在しないこと。		
		上記条件を満たさない。	EA0014	メッセージエリア
6	排他チェック	表示中の災害情報が最新であること		
		上記条件を満たさない。	EA0013	災害一覧画面のメッセージエリア

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

※3 必須項目

項目名	トリガー
災害名	(登録ボタン押下)